大学におけるジェンダー平等の達成に向けて 大学院生は何を提言できるか

実施責任者:小山里奈 社会情報学専攻 M2 谷村直道 西田菜都子 M1 奥村光貴 加納泰斗



ジェンダー不平等の問題

女性の問題

- →環境がよくない
 - →パワハラやセクハラ
 - →友達が作りづらい
 - →女性用の施設が少ない

 \downarrow

生きづらさや学びづらさ

組織の問題

- →男性優位な意見の場
- →少数の女性の意見=女性代表

 \downarrow

議論や思考に偏りが生まれる

背景 情報学研究科構成メンバーの男女比率

教員・・・女性の割合は2%(2021年)

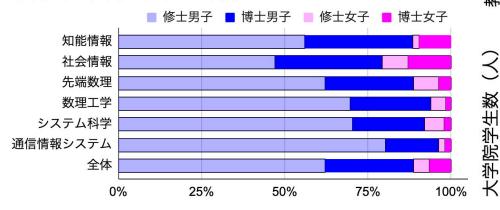
学生・・・

修士:7%

博士:20% 全体:11%

専攻による違い

専攻別学生男女比率(2022年度)

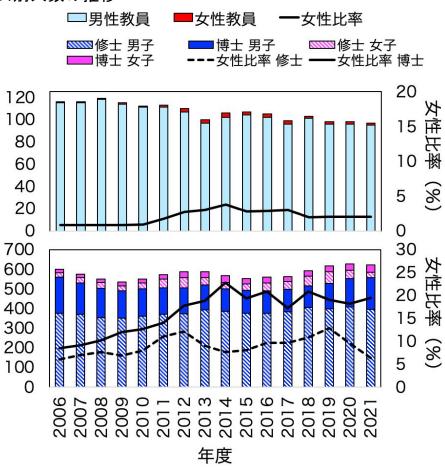


情報学研究科内データ

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/data/staff https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/data/students

男女別人数の推移

教員数



背景 女子学生・女性教員を増やすための取り組み

研究科

女子学生懇談会



女性限定公募

| 京都大学 大学院理学研究科 化学教室 准教授 (女性限定) の公募 (物理化学・理論化学講座)

2022年09月22日 2022年12月23日 京都大学 [化学-基礎化学]

京都大学 [化学-基礎化学] 准教授・常勤専任講師相当 常勤(任期なし)

| <u>教授の公募(工学部工学科電子情報通信コース)情</u> | 報通信工学 女性限定公募

2022年09月22日 2022年11月21日 琉球大学 [工学-電気電子工学]

ポペペチ [エ子-竜×竜丁エ子 教授相当 常勤(任期なし) 京大

アクションプラン

一 はじめに

オープンキャンパス

【工学部共通企画】女子高校生のための工学の ススメ

京都大学工学部では、京都大学オープンキャンパスにおいて、女子高校生・ 女子受験生のための企画を2010年から*開催しています。

*2020年及び2021年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため非開催

実施にあたっては、女子学生スタッフが中心になって企画・運営を行い、エ 学に関心のある女子高校生・受験生とその保護者を対象に、工学部の女子学生や卒業生の学生生 活、研究生活、学習内容、進路、仕事などについて講演や懇談を行っています。

本学における男女共同参画=ジェンダー平等推進の動きは、すでに長い歴史をもっています。1960 年代には、保育所設置の運動が生まれ、大学の協力のもとで職員組合等の力で共同保育所が運営されていました。現在、この共同保育所は、朱い実、風の子の両保育所(ともに京都市認可保育所)として受け継がれています。また、両認可保育所の発足以後も、入所措置前の乳児に対して、大学雇用の複数の保育士を配置した共同保育所(少子化や育児休業制度、さらに京都市の保育所制度の一定の整備などにともない1999年に完全廃止)が設けられ、就業・研究と育児の両立を支えてきました。

女性研究者のネットワーク形成という点でも、京都大学は全国の大学にさきがけ、1981年には、女 性教官(当時、現在は教員)懇話会が誕生し、総長との懇談の機会を継続的にもつことで、学内に おける女性をめぐる諸問題の解決の動きを進めてきました。

男女共同参画センター



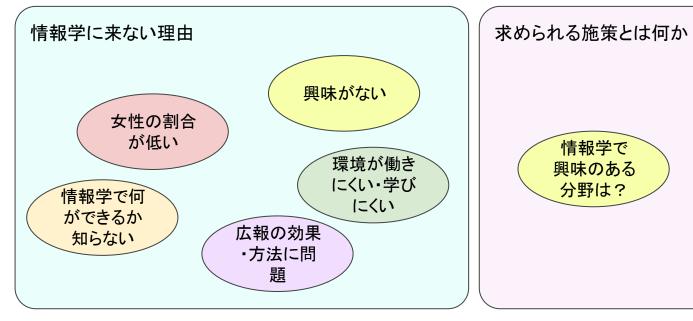
サン ライン
車 アォーラム 10/23 g 9:30-12:30

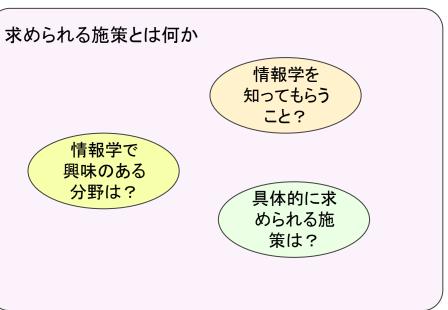
https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorSearch?fn=3&dispcount=10&keyword_and=女性限定https://www.t.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/open/techjoshihttps://www.kyoto-u.ac.jp/ja/about/gender-equality/action-plan/03https://www.cwr.kyoto-u.ac.jp

目的

目的

- ____
- 女性が理系・情報学に進学しない理由はなにか。
- 女性が求める施策はなにか







データ収集

- アンケート調査
- 対象:高校1-2年生・文系+理系の男子・女子生徒 680名
- 方法:Webアンケート
- 期間:2022年9月5日-7日
- 内容:以下に関する問い
 - 理系・情報学に進学しない原因は何か
 - 求められる施策は何か

結果・考えられる施策

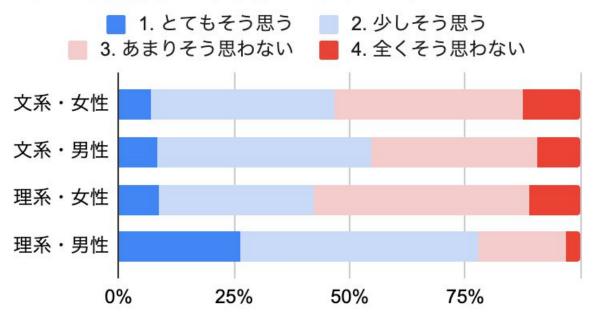
回答者について

```
回答数:586
属性
  性別
             314 (うち135は理系を選択・選択予定)
     女子
     男子
             258 (うち181は理系を選択・選択予定)
     それ以外*
                 (うち9は理系を選択・選択予定)
             14
  学年
     1年生
             429
     2年生
             156
     それ以外*
  文理選択
     文系選択•文系希望
                  252 (うち81は未選択・予定)
     理系選択•理系希望
                  325 (うち128は未選択・予定)
     未選択・それ以外*
                  9
```

以降の集計は、*を付したものを除いて行う

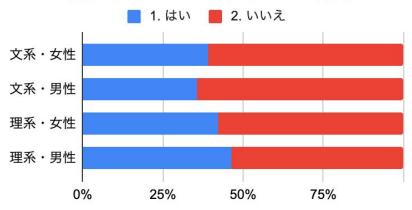
情報学に興味をもつ人が少ない?

Q01.情報学に関心はありますか.

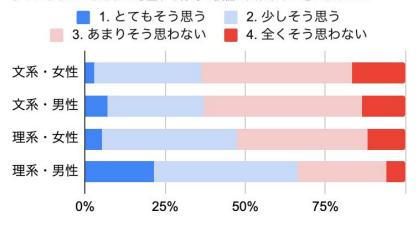


情報学が何をしているところか知らない?

Q07.情報学は、コンピュータサイエンス以外の分野とも強い関わりがあり、生物学や医学、教育学など様々な分野の研究を情報学の視点から行うことも多く行われています、情報学を学ぶことで、そのような多分野にまたがる学問、研究がで...

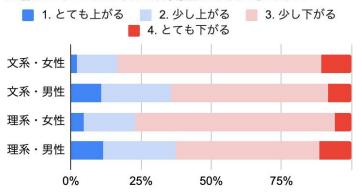


Q08.情報学を学ぶことで、このような多分野にまたがる学問、研究分野ができるようになることを知って、志望する分野の候補に入れようと思いましたか.

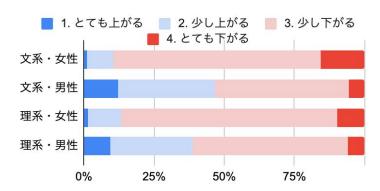


教員・学生に女性の割合が少ないから来にくいの?

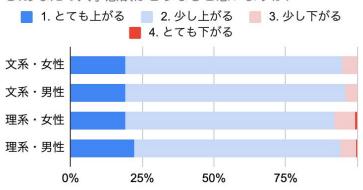
Q10.今志望している学科では学生の男女比が強く偏っていて.自分と同性の学生 が1割しかいないとしたらあなたの入学意欲はどうなると思いますか.



Q13.今志望している学科では教員の男女比が強く偏っていて.自分と同性の教員が1%しかいないとしたらあなたの入学意欲はどうなると思いますか.

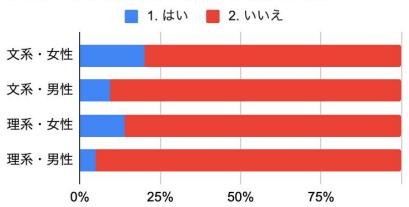


Q11.今志望している学科の男女がほぼ同数であるとしたら.あなたの入学意欲はどうなると思いますか.

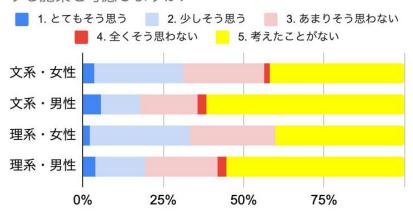


広報が効果的に機能していない?

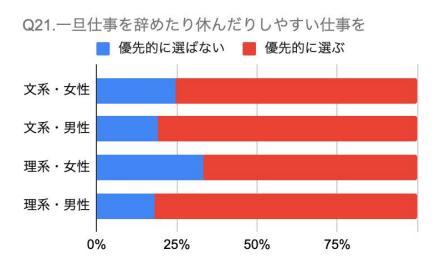
Q16.進学先を選ぶ際.志望先の大学.学校の女性支援について調べましたか.あるいは調べる予定ですか.



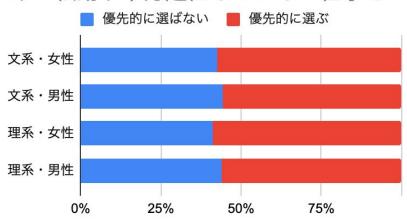
Q17.進学先を選ぶ際.志望先の大学.学校の女性支援に関する施策を考慮しますか.



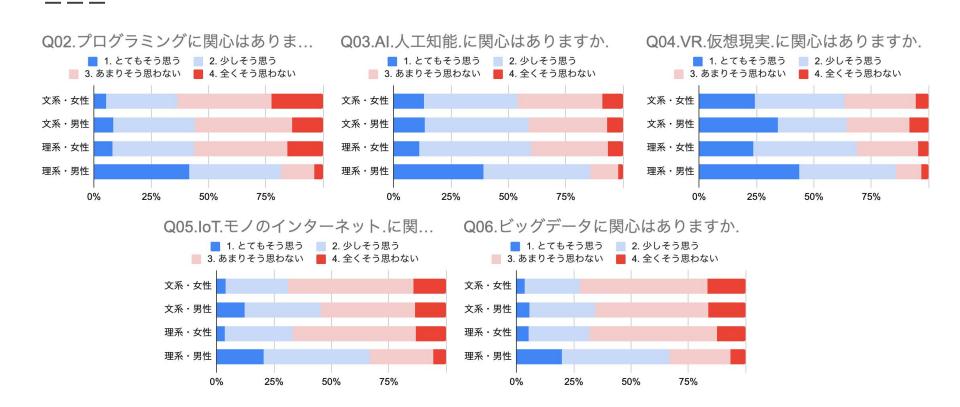
働きにくい、学びにくい環境?







情報に関するどんな分野に興味を持っているのか



女子学生が求める施策ランキング

	全体	理系	文系
女子学生間の交流推進や環境改善のための女子学生懇談会	5	5	4
オープンキャンパスでの女子高校生・中学生に向けたイベント	3	4	2
女子学生に向けた奨学金などの金銭的な援助	1	2	1
女子学生に向けたメンター制度	6	6	6
女性用休憩室	4	3	3
女子用学生寮	2	1	5

施策6つに対し、1~3位まで 選んで回答 1位に3点 2位に2点 3位に1点 を与えて得点を計算し、

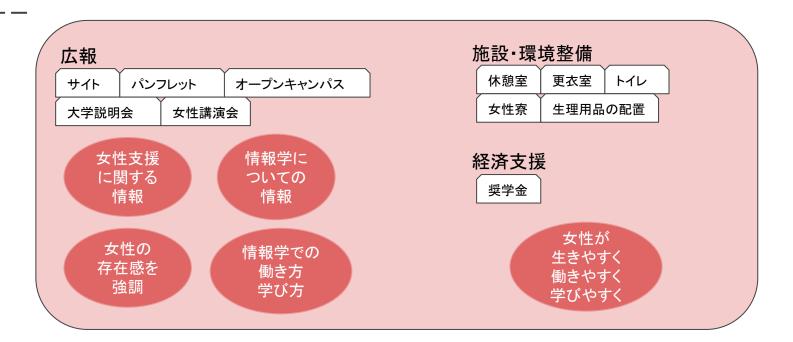
ランキング

自由記述(すべて理系・女性から)件ずつ回答)

- ・トイレの設備・ドレッサー付きトイレ・生理用品の配布
- ・生理による体調不良に関する支援・服装について・更衣室



提言 具体的な施策



継続していくことが重要・・・最終的にはしなくてもよくなることが目標

- ・調査の継続・・・高校生・大学生の意識調査
- ・評価の継続・・・施策による効果の検証

提言 長期的な視野で

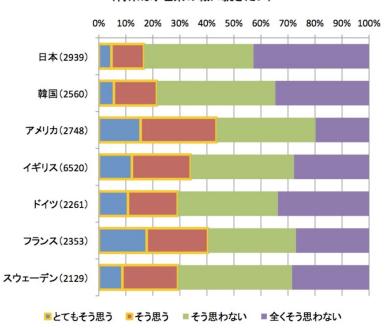
- 今後の施策を考える際に必要なもの:調査と評価



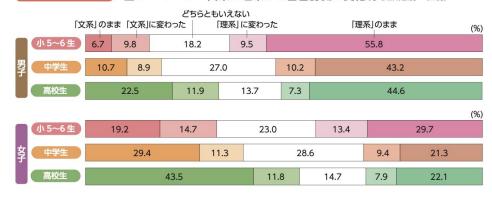
日本は理系女子が少ない

学年が進むにつれて、理系女子は少なくなっていく⇒環境要因による

図1 15歳の女子生徒の理系職志望 (将来は、理系の職に就きたい)



子ども 2015-2016 図 3 - 1 - 2 文系か理系かの自己認識の変化(学校段階別・性別)



- 注1 「「文系」のまま」は、2015年、2016年とも「はっきり文系」「どちらかといえば文系」と回答した人。「「文系」に変わった」は、2015年は「はっきり理系」「どちらかといえば文系」と回答した人。「「理系」に変わった」も同様。「どちらともいえない」と回答した人。「「理系」に変わった」も同様。「どちらともいえない」は、2015年、2016年とも「どちらともいえない」と回答した人、および、2016年に「どちらともいえない」に変わった」。「よくかからない」、無回答・不明は除いて算出している(図3-1-1、図3-1-2)。
- 注2 2016年の学年(図3-1-1、図3-1-2)。

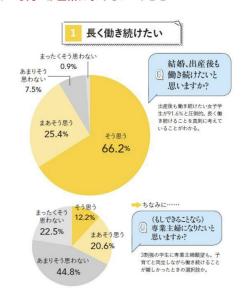
https://dual.nikkei.com/article/034/28/?SS=imgview&FD=1983446320 https://berd.benesse.jp/up images/research/2016 oyako web all.pdf

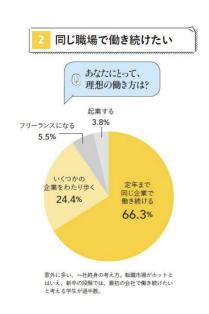
女子が文系を選ぶ理由

周りに文系選択の女子が多い、文系のロールモデルが多い 将来のために勉強をする人が増える(外発的動機付け)

参勉強が好きだからする 働きやすく長く働けること、つまり安定した職を求める傾向 ⇒文系就職で十分

"フツー女子"が企業に求める5つのこと







https://berd.benesse.jp/up images/research/2016 oyako web all.pdf

情報学研究科に女子学生・女性教員が少ない理由

- ・情報学に興味がない
- 学生・教員が男性ばかり
- 情報学が何しているか知らない
- ・ 入るハードルが高い
- ・ロールモデルがいない

- ・転勤や出張が多い
- ・離職した後の職探しが大変
- ・単身赴任がある

女子が文系を選ぶのはごく自然な流れにも思える わざわざ理系を選ぶのは、その分野の学問に興味がある場合を除いてリスクが高い ex:)進学、差別、就職、結婚、出産、再就職など

仮説 来ない原因と来やすくなる要因

来ない原因に関する仮説

- そもそも情報学に興味がないのでは?
- 教員・学生に女性の割合が少ないから来にくいのでは? ⇒男子に比べ女子は人数を気にしている
- 情報学が何をしているところか知らないのでは?
- 広報が効果的に機能していないのでは?
- 働きにくい、学びにくい環境なのでは?

来やすくなる要因に関する仮説

- 情報に関するどんな分野に興味を持っているのか?
- 情報学について知ってもらえば興味を持ってもらえるの ⇒説明することで、興味を持ってもらえる では?
- 女子学生が求める施策とはなんなのか?

- ⇒文系にも結構いる
- ⇨半数以上はあまり知らない
- ⇨あまり見ている人が少ない
- ⇒ワークライフバランスは男子と女子変わらず重 視
- ⇒文系・理系で興味を持っていることが違う
- ⇒施設や金銭面、説明会を求めている

付録2(アンケート結果)

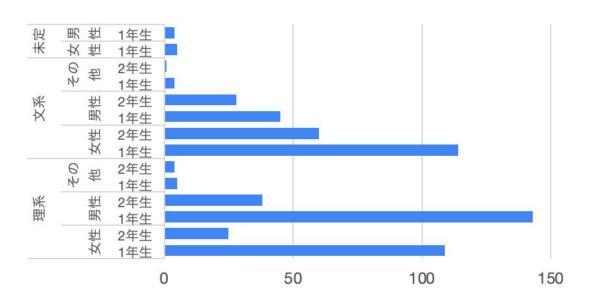
趣旨説明:高校生の進路選択に関するアンケート

私たちは、京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻で開講している「問題発見型・解決型学習」という科目を履修している大学院生です。

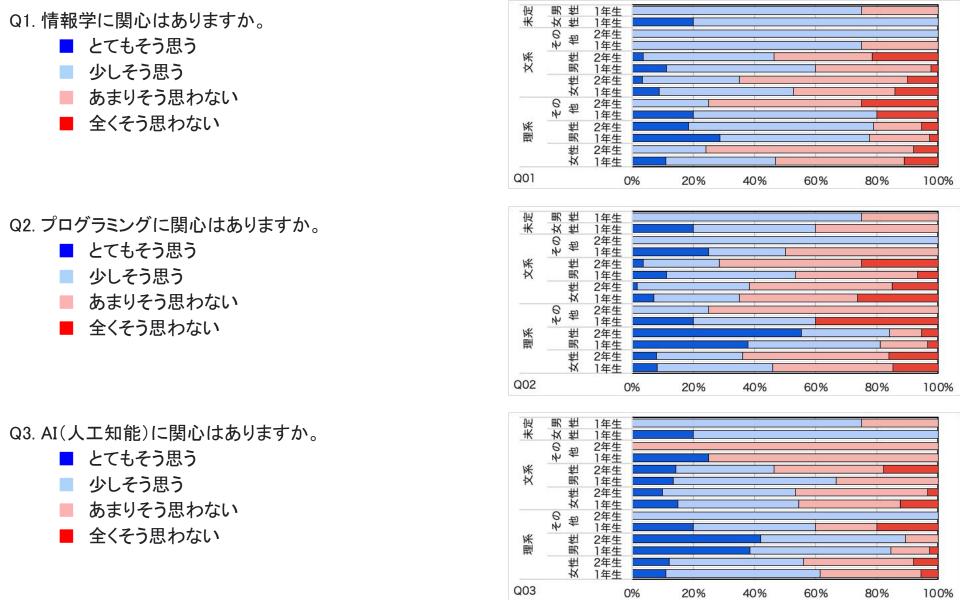
このアンケートは、大学や大学院に進学する可能性のある高校生が進路を選ぶ時にどういったことを意識しているのか調査する目的で実施するものです。

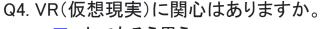
アンケートにかかる時間は15分~20分です。調査結果は、調査者が責任を持って管理し、個人が特定される形で公表されることは絶対にありません。なお、個人が特定されない集計データは、本科目の成果発表会で公表し、その他にフィードバックの目的などで使用する場合があります。

文理別・性別・学年別の回答者数



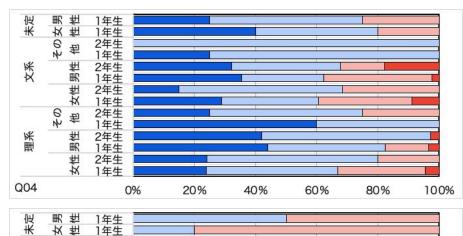
※ 理系・文系にはそれぞれ、まだコース選択をしていないが、理系・文系を選択しようとしている回答者を含む

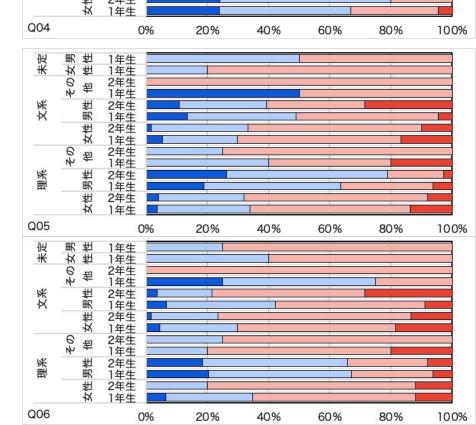




- ■とてもそう思う
- 少しそう思うあまりそう思わない
- 全くそう思わない

- Q5. IoT(モノのインターネット)に関心はありますか。
 - とてもそう思う少しそう思う
 - あまりそう思わない
 - 全くそう思わない
- Q6.ビッグデータに関心はありますか。
 - とてもそう思う
 - 少しそう思う
 - あまりそう思わない
 - 全くそう思わない





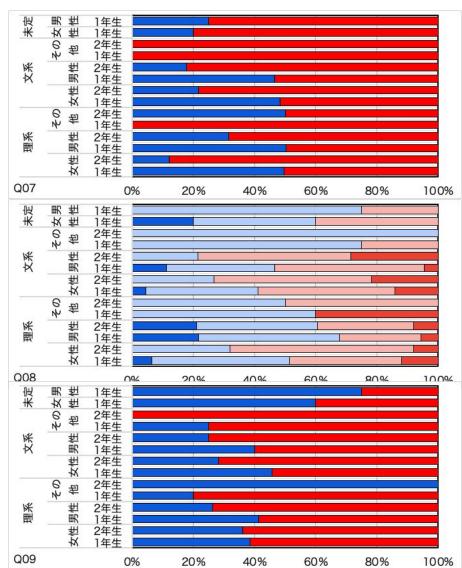
以下は、高校卒業後の進路として進学(特に大学に進学)する場合の希望や考えをお伺いします。

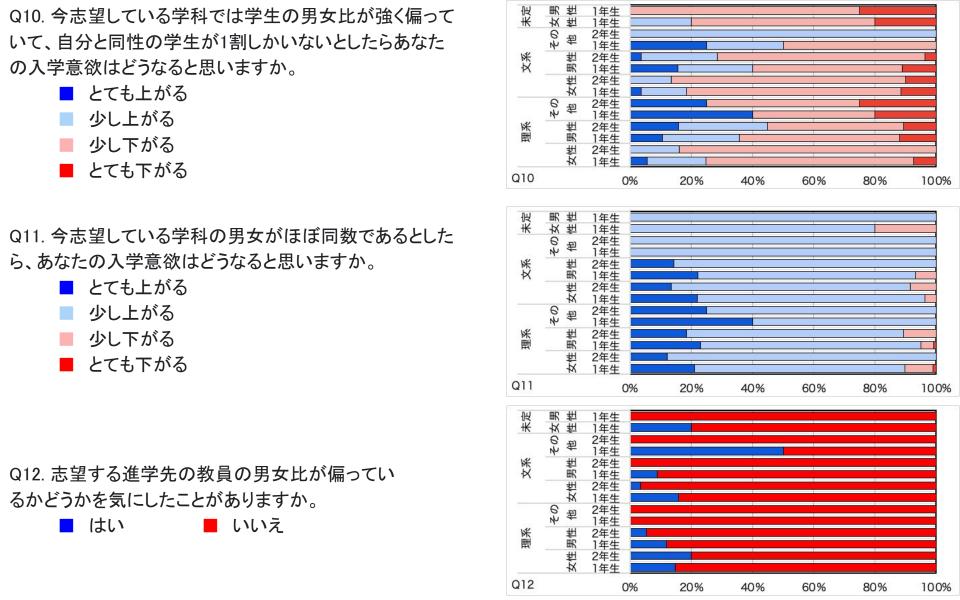
Q7. 情報学は、コンピュータサイエンス以外の分野とも強い関わりがあり、生物学や医学、教育学など様々な分野の研究を情報学の視点から行うことも多く行われています。情報学を学ぶことで、そのような多分野にまたがる学問・研究ができるようになることを知っていますか。

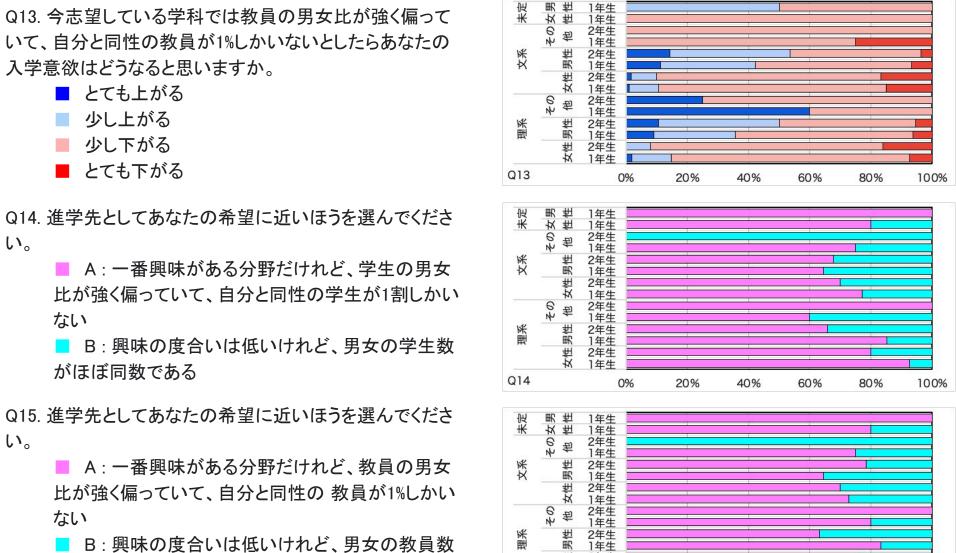
はい

いれえ

- Q8. 情報学を学ぶことで、このような多分野にまたがる学問・研究分野ができるようになることを知って、志望する分野の候補に入れようと思いましたか。
 - ■とてもそう思う
 - 少しそう思う
 - あまりそう思わない
 - 全くそう思わない
- Q9. 志望する進学先の学生の男女比が偏っているかどうか(男女どちらかの割合が極端に多いまたは少ない)を気にしたことがありますか。
 - はい いいえ



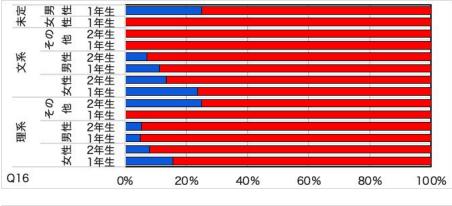


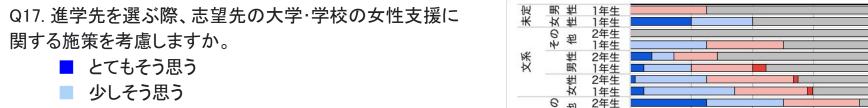


2年生 がほぼ同数である Q15 0% 20% 80% 100% 40% 60%

Q16. 進学先を選ぶ際、志望先の大学·学校の女性支援について調べましたか、あるいは調べる予定ですか。

■ はい ■ いいえ

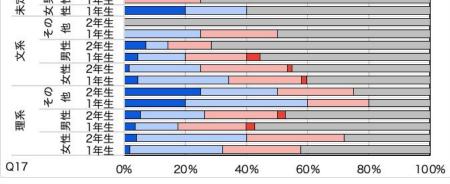




■ 全くそう思わない

あまりそう思わない

■ 考えたことがない



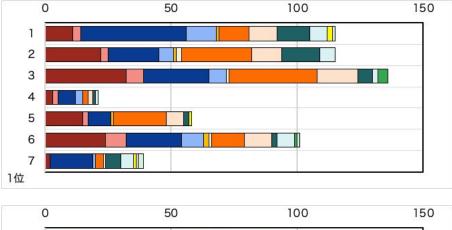
Q18-20. 大学·学校の女性支援に関する次の施策のうち、 入学意欲が上がるものを上から順に3つまで以下から選ん でください。

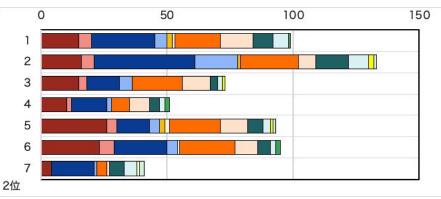
(Q18=1位、Q19.=2位、Q20.=3位)

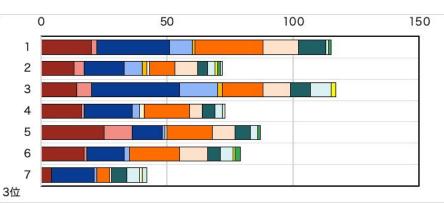
- 女子学生間の交流推進や環境改善のための女子 学生懇談会
- オープンキャンパスでの女子高校生・中学生に向け たイベント 女子学生に向けた奨学金などの金銭的な援助
- 女子学生に向けたメンター制度
- 5. 女性用休憩室
- 女子用学生寮
- その他



- その他(自由記述)に上げられた項目 ない・特になし・わからない・興味がない・意欲は変わらない
 - ・トイレの設備・更衣室・ドレッサー付きトイレ
 - ・生理用品の配布・生理による体調不良に関する支援
 - これまで男性に対してされてきた支援
 - ・男性なのでわからない・関心がない・男性回答者に配慮した選択肢が必 女性優遇がある時点で男女差別・女性のみに特化した施策に疑問を感じ







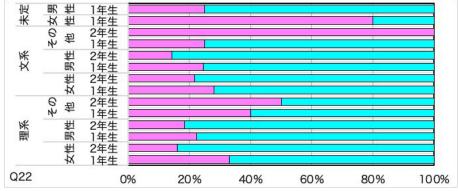
将来の仕事・職種を考える際に、結婚したり、家族・子どもを持つ可能性、そのために働き方(一旦仕事を辞めたり休んだり)や生活(転勤や単身赴任など)を変えたりする必要が生じるとします。そのために、あなたは

- Q21. 一旦仕事を辞めたり休んだりしやすい仕事を
 - 優先的に選ぶ
 - 優先的に選ばない



- 優先的に選ぶ
- 優先的に選ばない





※ Q23-26.は性別·学年·文理選択に関する質問

